

SPEEDIK

ELECTRIC CLIPPER **LEGATO** レガート DSC-8 トリミング



PROFESSIONAL

このたびは、スピーディク・クリッパー“DSC-8・レガート”をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。私達はこの商品が、皆様方のお役に立つことを心から願っております。持てる性能を、十二分にご活用いただけますよう、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用下さい。

アフターサービスについて

【1】お買上後すぐに異常が起きた場合は、内部機構や替刃に手を触れずお求めの販売店へお出しになられるか、直接当社へお送りくださいますよう願います。当社にて完全修理の上ご返送いたします。(点検調査の後、保証範囲内かどうか判断させていただきます。落とされた場合などは有償となります。修理、刃研の仕上がり直後も同じです)一般の故障時も、同様に手をつけずそのままの状態でお送り願います。

【2】切れなくなった替刃は、当社で研磨いたします。ハサミや包丁とは研磨方法が異なりますので、当社にお送りください。研ぎ口がなくなるまで度数研磨でき、新品同様の切れ味が戻ります。

【3】修理品、刃研品をお送りいただく場合下列のことにご留意ください。

- お名前・ご住所・郵便番号・電話番号は必ずお書きください。
- 輸送中の事故がないよう、本体箱に入れた際の物で固定して下さい。替刃は折れやすいので、備え付けのキャップをかぶせるか、厚紙でキャップをつくるなど、特にご注意ください。
- できるだけ早くお手元にお戻しできるよう努力いたしておりますが、時期によって、修理、刃研が1カ月以上かかるときもございます。なにぞご理解の上お願ひいたします。

【4】当社ではこのクリッパーの補修用部品を製造打ち切り後、5年間は在庫しております。安心してお使いください。

【5】当社製品には保証書はございません。当社製品はユーザー様により使用頻度の個人差が大きく、日々ではわからないからです。かといって保証修理をしないわけではありません。当社の熟練担当者が使用頻度を判断し、《無償修理》・《有償修理》を判断させていただいております。

【6】この製品に関するご質問、又ご不明な点がございましたら、当社までお気軽にお問い合わせください。

スピードイク 株式会社

〒579-8041 東大阪市喜里川町2番12号
TEL(072)981-4426(代) FAX(072)981-6885
E-mail : dogcat@speedik.co.jp
ホームページ : http://www.speedik.co.jp/pet/

使用法

■ DSC-8・レガートは家庭用電源100V(ボルト)でご使用ねがいます。周波数は50Hz(ヘルツ)、60Hzのどちらでもご使用になります。

【1】ベットの毛のものれ毛や砂等異物がないよう、シャンプーやブランシングをされてからご使用ください。もれ毛や異物がありますと替刃の切れ味を劣化させたり、刃こぼれの原因となります。

また、毛は十分に乾かしてください。水気は故障の要因となります。

【2】替刃をセッティングしてください。
新商品の替刃は最もよく切れる状態にセッティングされています。

表面の油だけ拭き取り、どこもいじらずそのままお使いください。分解等されると切れなくなる場合がありますので、ご注意ください。

【3】トリミングの作業中は、ゆっくりクリッパーをお進めください。

切り取る以上のスピードで進めますと毛が替刃につまり、クリッパーが刈り取っていけません。そのようなことを繰り返しますと替刃の劣化になります。

【4】トリミングが終わりましたら、ブラシで替刃に付いた毛を表裏とも前方に向けて払い落してください。刃の分解は必要ありません。

また、上刃と下刃の接触面に(刃先と後方のレール部分)注油してください。錆を予防し替刃の切れ味保持に効果です。

【5】このクリッパーの定格使用時間は10分です。定格時間を超えますと徐々に高温を帯びてきます。そういう場合は作動を止め、ある程度、本体が冷えるまで休ませてください。

これはクリッパーを長持ちさせるコツであり、また、より安全にお使いいただけます。

(尚、定格時間を超えての使用で熱を持っていても作動している場合は故障とは限りません。)

【6】替刃は鋼材の上刃と下刃が擦り合って切れています。

そのためどうしても摩擦熱が発生してしまいます。長時間ご使用になる方は予備の替刃を用意され、交互にお使いになられるようお勧めいたします。替刃での火傷の防止になります。

【7】替刃は刃物です。思わぬことで怪我(ケガ)をすることもあります。

慎重にお取り扱いください。

【8】DSC-8・レガートはベットのトリミングを用途とした製品です。それ以外のごことはご使用にならないでください。

△クリッパー本体に関する注意

【1】本体にセットする替刃はスピーディクの純正品以外はご使用なさらないでください。

【2】アリ(替刃を取り付ける金属の凹部分)側面部にあります小ネジは、替刃が抜けやすくなったりときに少し締めて調整してください。小ネジを締め過ぎますと替刃が根元まで入らなくなります。

緩め過ぎますと小ネジがご使用中に解け落ちることがあります。小ネジがどれほど、内部のバネとボルトも抜け落ちます。

それ程小さく粉砕しやすいものですから、そのためにも緩め過ぎにご注意ください。また、替刃をつけた状態で小ネジを締め過ぎますと替刃が抜けなくなります。

緩めすぎると替刃が落なし、刃折れを引き起こします。

【3】ご使用中に本体が異常に高温・異常過電流になった時、急に作動が止まることがあります。これは故障ではなく安全装置の電子部品ポジスターが働き、一時的に作動を停止させています。

本体の温度が下がりますと再び作動いたします。しばらくお待ちください。

替刃の油切れやレットの締め過ぎは、高温になる原因になります。

【4】使用しない時や、スイッチを入れても作動しない時は必ず電源からプラグを持って抜いてください。

電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差しみがゆるい時に使用しないでください。

ベットがコードを噛んだり、替刃で傷つけたコードはショートしやすく、時には発火いたします。コードが傷つけた場合は直ぐにプラグを抜き弊社までお送りください。

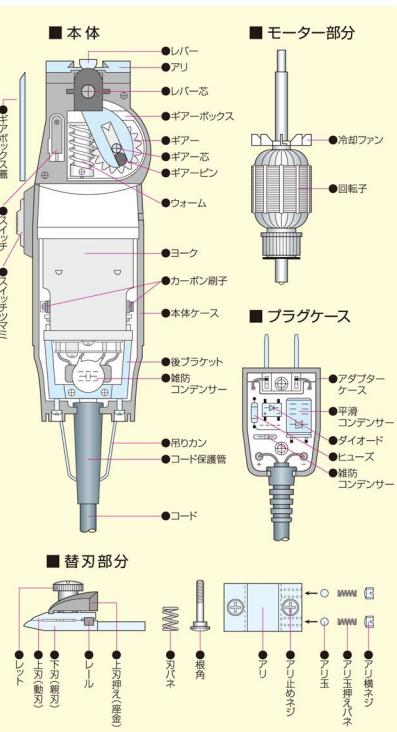
【5】作動中はしっかり本体を持って操作してください。

お使いにならない時は、本体が落しないように気をつけてください。

また、お子様の手が届かないところに保存してください。

【6】本製品は本体・替刃ともに水分を嫌います。水気の近くでの使用もおやめください。状況によって感電することがあります。

構造と部品名



仕様と特徴

品名 スピーディク・エレクトリッククリッパー DSC-8型

愛称 “LEGATO”レガート

愛称の由来：音符の間で切れ目を感じさせず、滑らかに続けて演奏する方法。少々の毛玉は刈り取り、滑らかにトリマー様をサポートするように命名。

仕様	電 源	AC100V・50/60Hz	重 量	約400g
消費電力	15 W	安全装置	ヒーズ	モーター 直流整流子モーター ポティカラー ブラック・ブルー

特徴

- ★ プラグに交流を直流に変換する電子部品を内蔵させ、本体自身を軽くしました。
- ★ モーターは弊社特製の直流整流子モーターを使用しております。
- ★ 少しでも多く伝わる熱を和らげるため、ガラス繊維を組み込んだ特殊な樹脂を使用しています。
- ★ 強力なモーターを使用しているため、本体内部を冷却するファンを装備しております。
- ★ この製品は耗材となる部品がいくつかございますが、その部品を交換することによって本体そのものの耐久性は群を抜いております。
- ★ 業務用(プロフェッショナル仕様)として最高の機能を有しております。SPEEDIK(スピードイク)印・替刃の切れ味をフルに引き出します。

注意

- 本体中央部の通気口より暖かい風が出てまいりますが、故障ではございません。ファンによりモーターの熱を奪っているため出てくる風です。
- ギヤボックス内のグリースは年に2~3度交換されることをお勧めいたします。そうすることにより、ギヤの摩耗やモーターの負担を和らげます。なお、グリースはスピーディクの純正グリースをお使いください。
- 市販の冷たいフレイや潤滑スプレーなどには成分のきついものがあり、本体内部に入り込むギヤーやアリ等の樹脂部品が溶けたり、グリースを固まらせたり、蒸発させたりいたします。ご注意ください。必要以上の噴射はおやめください。

アフターサービスについて

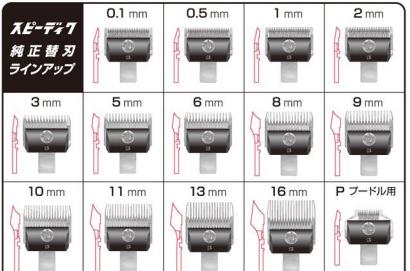
スピードイクの替刃

替刃はクリッパーの命です。切れ味、そして耐久性が必要です。ベットの毛は柔やかく「シシ」がありませんので、特に锐い切れ味とその切れ味を維持する耐久性が不可欠の条件です。

当社ではそのような条件を満たし、ご愛用の方に喜ばれ、また信頼される替刃作りを日々行っております。

替刃をお求めの際には切れ味の脱い、当社製品 SPEEDIK 印とご指名ください。 SPEEDIK 印の替刃は当社製クリッパー全ての製品に共通してご使用できます。当社では下記の製品等14種類の替刃を製造しております。

伝統の刃え



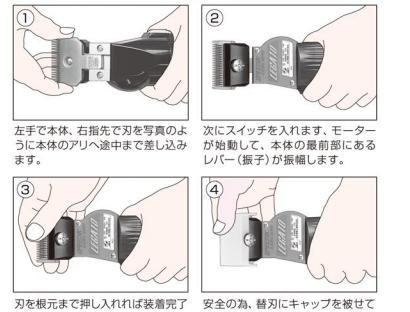
替刃のmm(ミリ)表示は毛の生えている方向と逆のほうから刈り上げた場合、刈りのmm数です。ベットの身体は柔らかく動きますのでmm表示を参考値にしてください。また、毛の生えている方向に沿わして、刈られますと表示以上に刈り残ります。

※注…クリッパーの操作に慣れるまでは、6mmまでをお勧めいたします。mm数の大きい替刃は毛がすくい上げにくく、重さのバランスもとりにくく、熟練を要します。

刃の脱着方法

■ DSC-8・レガートは当社他の製品と同様に差込式になっています。下記の写真のように本体のアリ部分(四角穴のついた金属部)に替刃をセットしてください。

A. 刃を差し込む(セットする)



B. 刃を抜く(リセットする)



△替刃に関する注意 -1

【1】スピードイク純正替刃はスピードイク以外のクリッパーにご使用なさらないでください。

【2】替刃の刃先は細く、薄く、大変折れやすいものです。落としたり、ぶつけたりなさないよう、お取り扱いには十分ご注意ください。

【3】レット(替刃上のネジ)はいじらないでください。

新品時は最良の位置にセットしております。

最良の位置は1丁、1丁微妙に違い、出荷時に調整しております。レットを緩め過ぎると上刃と下刃の隙間が開き、毛が入り込んで替刃が急に切れなくなる原因になります。レットを締め過ぎると負荷がかかり、替刃が高温を持ったまま、本体の故障につながります。万一对刃を強くしてしまわれたら、レットを一度手でいっぱいまで締め、そして半回転から一回転程度戻してください。

【4】替刃の掃除はブラシで毛を払う程度で結構です。

【5】注油は非常に大切です。

上刃と下刃の接触面(前方の刃先と後方のレール部)、座金(黒いプラスチック)と上刃の接触面に、純正刃オイル(添付しているオイル)をご使用の前と後に1~2滴注油してください。使用前は替刃の摩擦熱を抑え、本体への負担を軽減されます。表面の余分なオイルはきれいな布で拭き取ってください。使用後は替刃の予防に有効で、切れ味を保つのに効果があります。ブラシで替刃の毛をよく払ってから注油してください。

【6】替刃が抜け落ちたり、ガタガタするのはほとんどアリの問題です。

(アリは本体頭部の四角い金属部で、替刃と本体のジョイント部です)アリの側面の小ネジを締めてください。それでも異常があれば、アリの□部分が○部分に変形していませんか。何らかの変形があれば、アリの交換が必要です。

【7】順調に替刃が切れているときは、替刃の分解掃除は必要ありません。分解すると微妙な調整が狂い、逆に切れなくなる場合があります。

△替刃をやむをえず分解された場合の組み立て方

【1】上刃と下刃の接触面に、毛やゴミ等の異物がないか、間違いなく確認してください。

異物があれば、きれいな布で丁寧に拭き取ってください。

【2】根角(A)に下刃(B)を挿入します。

【注】根角(A)の頭部にある四角部を下刃(B)の四角穴にきちんとはめこみます。

【3】次に上刃(C)を挿入します。

下刃(B)のレール受けに上刃(C)のレール(白いプラスチック)をさきどりはめこみます。

【4】次に座金(D)を挿入します。

【注】座金(D)中央部2本の金属ピンを下刃(B)の穴にしっかりとはめこみます。

座金(D)前方部のプラスチックの突起部(レール部)を上刃(C)の溝にきちんとはめこみます。

【5】次に刃バナ(E)を挿入します。

【注】刃バナ(E)と刃根角(A)にしめつけます。

【注】刃バナ(E)は一度いっぱいでしめで半回転から一回転ほど戻してください。

【7】上刃(C)や座金(D)にがたつきがないか確認してください。

がたつきがあれば【3】又は【4】からやり直してください。

△替刃に関する注意 -2

※作業中、指等でレットを押さえ込む方が、きちんと組み立てられます。

※組立て方がズレると、それまで切れていた替刃も切れなくなります。

再度組み直しても切れない時は、当社まで研磨にお出しください。

替刃組立図

